

# 駒ヶ根民報

No.1376

2017. 2. 26

日本共産党

駒ヶ根市委員会

TEL 83-2969

## 駒ヶ根市議会3月定例会にお越しく下さい

平成29年度審議案件は、条例10件、補正予算1件、当初予算11件、事件4件、計26件

平成29年2月15日現在

平成29年度一般会計予算の総額は、144億5300万円、前年度当初予算比較10.1%減少は、都市基盤整備や学校の耐震化など大型の補正予算を前年度に計上した影響で4年ぶりの減少となりました。

特別会計と企業会計の合計は107億9969万円、1億1975万円の減少で、平成29年度予算総額は、252億5269万円となります。同6.4%減少。



## 元利償還金がピークを過ぎ普通債残高の減少

平成29年度末の市債残高の見込みは202億7696万円で、平成28年度見込み比4億4370万円減少する見込みです。

将来負担比率は、平成28年は3セフ借入れなどの影響で191%程度まで上がる見込みですが、平成29年見通しでは186%程度と引き下がります。引き続き厳しい財政事情は続きます。

## 財政健全化の財源、事業見直しの対応に注視が必要！

課題となっている基金残高の積み増しを、財政調整用3基金等を1億円余増額としています。財源を、全事業見直しによる障がい者激励金など扶助費減額見直しや、担い手育成支援等、活性化事業の縮小などにより行うとしており、今後、当市の福祉後退の懸念等、個々の事業見直しの妥当性を注視、検証していく必要があると共産党議員団は考えています。

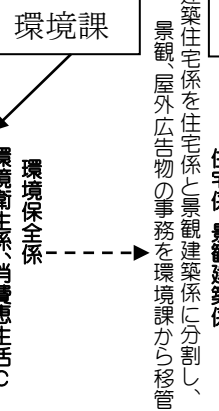
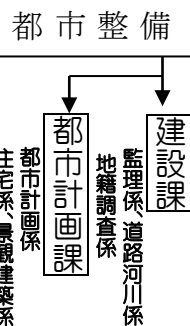


## 条例では

駒ヶ根市組織条例の一部を改正する条例では、機構改革に伴い部が分掌する事務の一部を変更するもの。

## 建設部

都市整備課を建設課と都市計画課に分割。



## 民生部

所属を建設部から民生部に移管し、名称を生活環境課に変更。環境保全係は、環境計画、自然保護、新工本、省エネ、EPOイント他を主管。生活環境係は、名称を環境衛生係に変更。

## 補正予算では

平成28年度駒ヶ根市一般会計補正予算第6号は、国の補正予算の採択及び県事業の前倒し対応した補正で補正額1億2600万円。歳出はシルコムシアムの改修に4000万円、こまくさの湯の改修に6000万円等。

## 事件では、権利の放棄について

駒ヶ根市土地開発公社の土地造成事業の廃止に伴い、市が金融機関に代位弁済した額から同公社から代物弁済される土地の

価格を控除した額の債権を放棄、権利放棄額7億4490万円。  
駒ヶ根市観光開発株式会社の特例清算手段に伴い、市が金融機関に代位弁済した額から同社から弁済される現金及び代物弁済される有価証券の価格を控除した額の債権を放棄、権利放棄額5億919万円余、等です。

## 3月定例会日程

会期 2月23日～3月17日 (23日間)

◇開会 2月28日(木)

議案の上程 提案説明 質疑 委員会付託等

◇一般質問 2日間 10時～3月6日(月)・3月7日(火)

※質問通告者の内訳は、次号でお知らせします。

◇常任委員会 9時～

3月8日(水) 総務委員会

3月9日(木) 教育民生委員会

3月10日(金) 建設産業委員会

◇委員会予備日

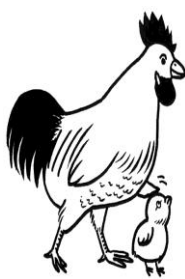
13日、14日の2日間

◇閉会 3月17日(金)

委員長報告 質疑、討論

採決

※議会傍聴は、委員会でも本会議でも出来ますので、気兼ねなくお越しください。



## 議会全員協議会の報告

公社株式会社財団等の経営状況の報告と共に、駒ヶ根市立地適正化計画(素案)について、空き家等対策計画(素案)、大田切りサイクルステーションの拡充について説明あり

## コンパクトシティはどっちかな?

駒ヶ根市立地適正化計画(素案) 国のコンパクトシティプラス・ネットワークの位置づけによる、全国的に進む人口減少に歯止めをかける集約型都市構造を当市にも持ち込む、集約化計画策定の考えが説明されました。市は、この計画により居住の集積や施設の設置場所を強制するものではないとしています。今後の、区域外の空洞化の影響等注視されます。

## 空家の定数207件！

## 空家等対策計画(素案)

適切な管理が行われていない空家等の影響から生活環境を保全する観点から、当市の空き家の実態平成28年度空家数207件内管理不全や倒壊の危険がある特定空家が15件と対策進体制の概要が説明されました。対策は計画期間を平成28年度から32年度までの5年間として取り組まれます。

## 大田切りサイクルステーション拡充

年々利用者数の増加に伴う対策として、資源回収ステーションの拡充が行われます。内容は、建屋を東側へ設置、導入路を1系統から2系統へ、入場口の幅を広げる。仮置きを可能にするためストックヤードを設置。駐車スペース確保。平成29年度中完了を予定しています。